

# — 記者発表資料 —

令和 6 年 2 月 2 日  
八代河川国道事務所

## 水陸両用建設機械始動！！ ～河道掘削（人吉区間）の試験施工を実施します～

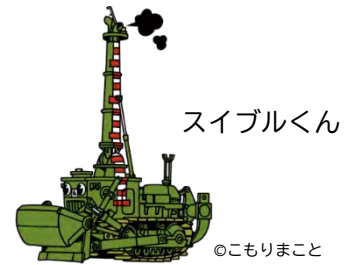
八代河川国道事務所では、今後水中部を含む河道掘削を行っていくことを踏まえ、「水陸両用ブルドーザ」と「水陸両用バックホウ」による試験施工を実施します。

試験施工は、2月8日から3月初旬までを予定しており、今後の本格適用の実現性や河川環境への影響等を確認しつつ、関係機関とも情報共有しながら実施していきます。

つきましては、現地での工法説明を下記のとおり行います。

### 記

- 日 時 : 令和6年2月8日(木)
- 時 間 : 14:00～15:00
- 場 所 : 織月大橋付近(別紙のとおり)
- 工法説明・取材等について:
  - 13時50分から受付を行います(事前受付(登録)等は不要)。
  - 14時から水陸両用建設機械の説明を行い、その後、試験施工を行います。



道流(どうる)

以上

### 《問い合わせ先》

国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所

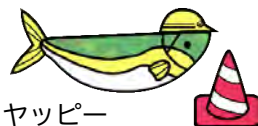
技術副所長

なかしま ただし  
中島 忠

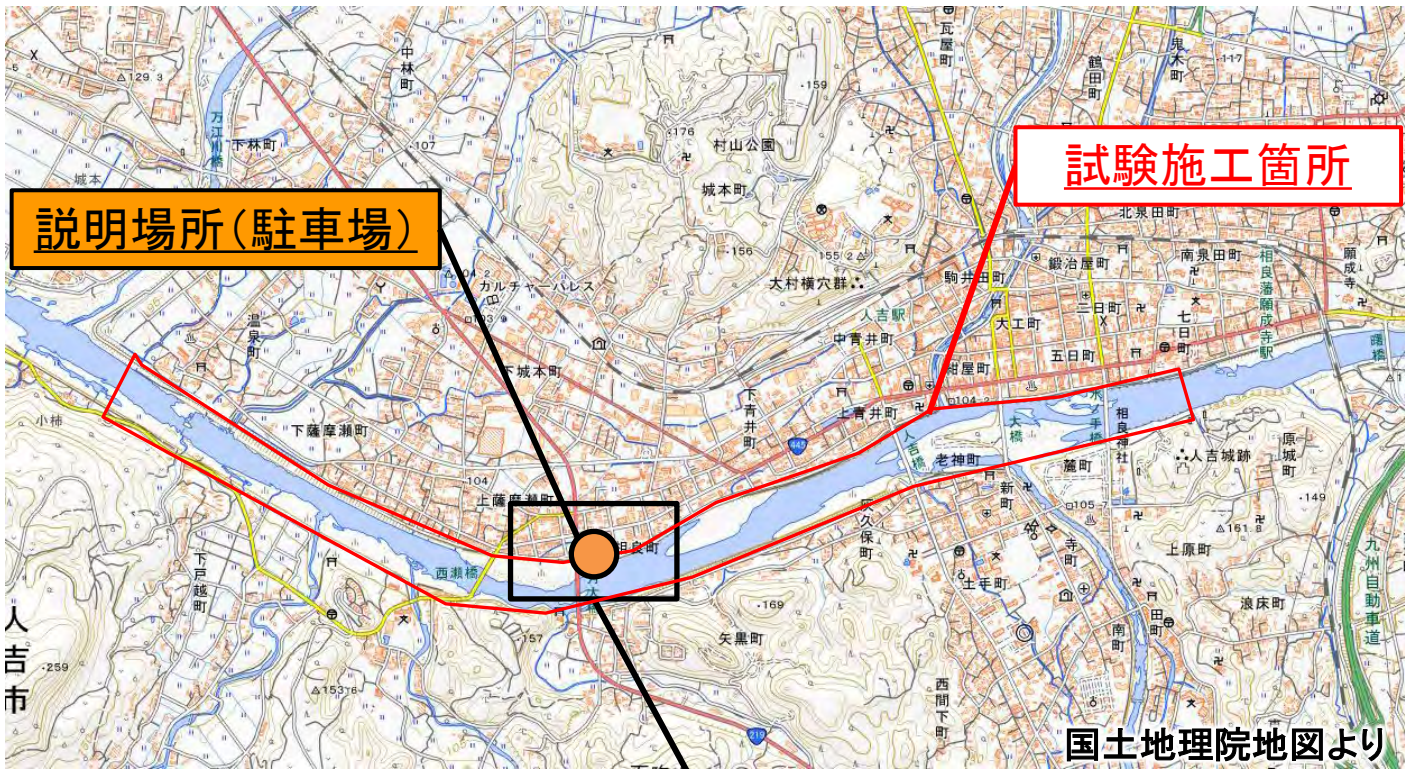
工務一課長

きたざき よしのり  
北崎 芳憲

代表 : 0965-32-4135



# 河道掘削(人吉区間)試験施工箇所 説明場所(駐車場)



# 水中両用建設機械の紹介

今回試験施工を行う、2台の水陸両用建設機械は、「青木あすなろ建設株」が保有する機械です。  
 なお、水陸両用ブルドーザーは全国に5台しかない珍しい建設機械です。

## ①水陸両用ブルドーザー

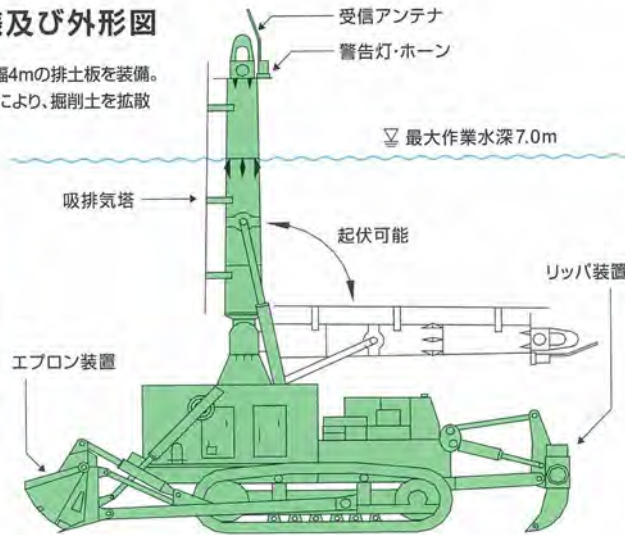
水深7mまでの  
浅水域で威力を発揮

### 水陸両用ブルドーザー仕様及び外形図

機械重量は43.5t、全長及び全高は約10mで幅4mの排土板を装備。  
 排土板前面のエプロン装置(平積み3.36m<sup>3</sup>)により、掘削土を拡散  
 することなく水中掘削押土が可能。

#### D155W-1 仕様一覧

重量	陸上	43,500kg
	水中	27,900kg
最高速度	前進	6.5km/h
	後進	7.7km/h
最小旋回半径		3.8m
ディーゼルエンジン		コマツS6D155-74J 19,260cc

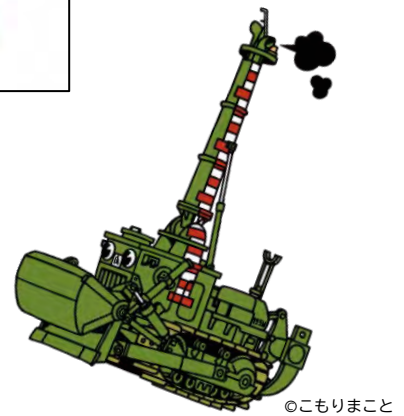
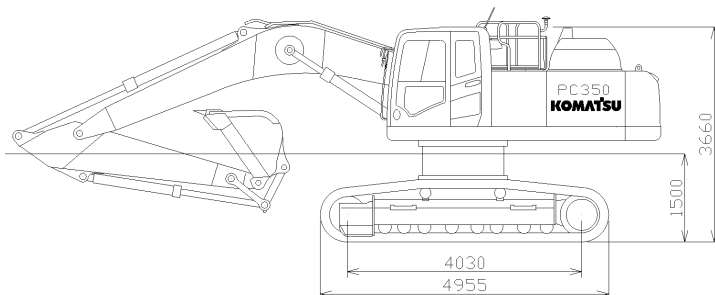
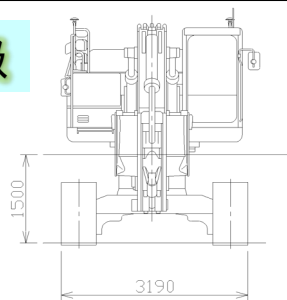


## ②水陸両用バックホウ

### 水陸両用バックホウ1.4m<sup>3</sup>級

#### 主な特徴

- 水深1.5mまでの水中作業が可能
- 仮設が軽微ですみ経済的
- 急な増水や悪天候時は自走で退避可能
- 通年施工が可能



出典:青木あすなろ建設株

# 水中両用建設機械の紹介

近年では、大淀川(宮崎県)、山国川(大分県)での施工実績があります。(水陸両用ブルドーザ)



大淀川の水中掘削を行う水陸両用ブルドーザ

写真提供:宮崎河川国道事務所